

保護者様

浅羽学園 浅羽東小学校長 田中 慎

令和6年度 全国学力・学習状況調査の結果・活用について

日ごろ、本校の教育活動に御理解・御協力をいただき感謝申し上げます。

さて、4月に行われた全国学力・学習状況調査や袋井版学力調査について詳細な分析を行った結果と今後の方針がまとまりましたので、お知らせいたします。これからも日々の授業を大切にして、学力の向上を目指してまいります。

1 教科に関する調査結果

○6年 全国学力・学習状況調査結果（◎…全国平均正答率より高い数値）

	国語					算数				
	合計	知識・技能	思考・判断・表現			合計	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
			話すこと 聞くこと	書くこと	読むこと					
本校	◎71.0	◎69.8	◎68.6	67.9	◎73.0	61.0	63.2	58.5	◎56.6	59.9
全国平均	67.7	71.4	59.8	68.4	70.7	63.4	66.0	66.3	51.7	61.8

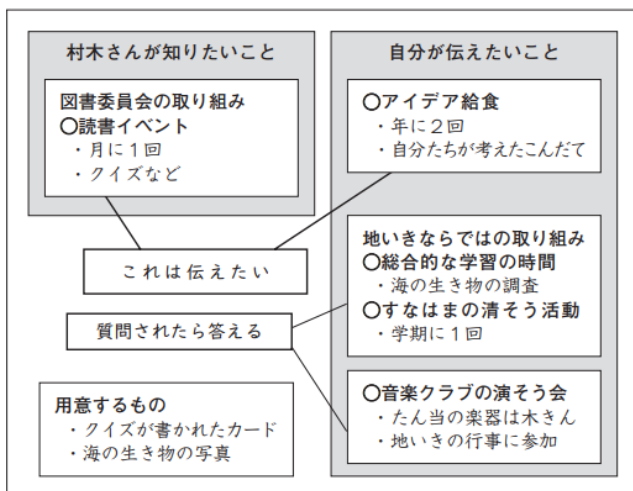
〈国語科〉

- 全体的によい結果でした。昨年度の第5学年袋井版・学力学習状況調査では全ての項目で全国平均を下回りましたが、今回は大幅に改善が見られました。
- 「話すこと・聞くこと」の項目では、全国平均を10ポイント近く上回りました。特に、左下の「メモの整理の仕方のよさについて問う問題」の正答率が高い結果となりました。
- 全問にわたり無回答率がとても低く、粘り強く問題を解こうとする意欲を感じることができました。
- 「書くこと」の項目のみ、全国平均を下回りました。特に、右下の「メモを書くときの思考の流れを問う問題」での正答率が低い結果となりました。

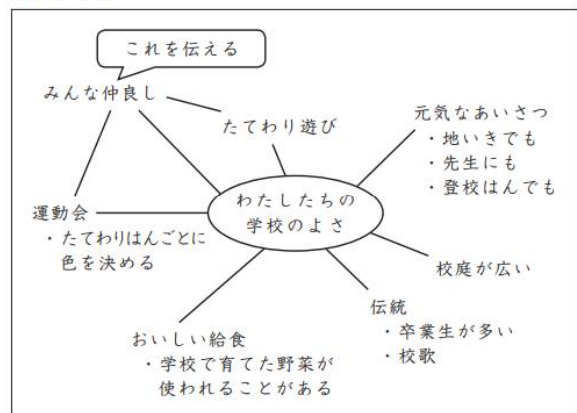
〈正答率の高かった問題〉「話すこと・聞くこと」
和田さんは、メール文を読んで、紹介する内容をどのように整理しましたか。

〈正答率の低かった問題〉「書くこと」
高山さんは、文章に書くことを決めるために、どのように考えましたか。

【和田さんのメモ】



【高山さんのメモ】



【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で活動していて、みんなが仲良しになる。このことが学校の一番のよさだと思うから、文章に書こう。

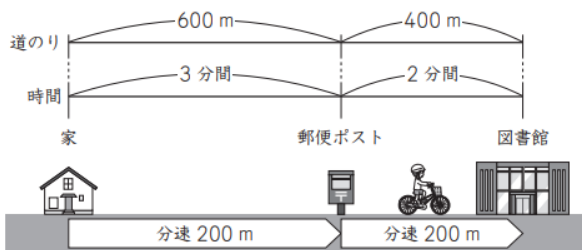


〈算数科〉

- 「変化と関係」の項目で、全国平均を上回る結果でした。正答率が高かったのは、左下の「速さについての知識の定着を確かめる問題」でした。
- 記述して答える問題での正答率が、全国と比べて低い結果となりました。
- 全体的に、「思考・判断・表現」の力に課題がありました。特に、右下の「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する」問題では、正答数が37%と低い数値でした。

〈正答率の高かった問題〉「変化の関係」
速さについての知識の定着を確かめる問題

(4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通って図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。

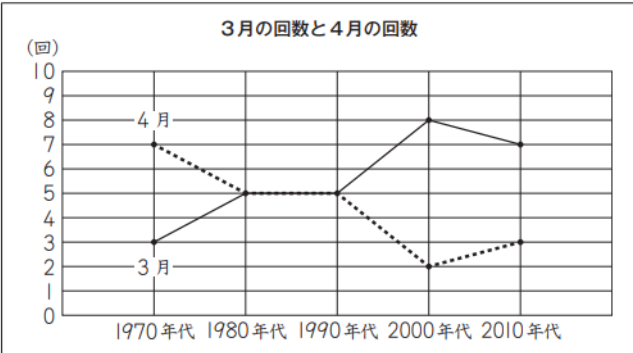


家から郵便ポストまでは、道のりは600mで、3分間かかり、速さは分速200mでした。

郵便ポストから図書館までは、道のりは400mで、2分間かかり、速さは分速200mでした。

家から図書館までの自転車の速さは、分速何mですか。
答えを書きましょう。

〈正答率の低かった問題〉「データの活用」
折れ線グラフから数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述する問題



左の折れ線グラフで、3月の回数と4月の回数のちがいが最も大きい年代はいつですか。また、その年代について、3月の回数と4月の回数のちがいは何回ですか。

ちがいが最も大きい年代と、その年代について、3月の回数と4月の回数が何回ちがうかを、言葉と数を使って書きましょう。

2 児童意識調査の結果

児童の生活の様子や学習への取り組み方についての調査もしました。本校の傾向は以下の通りです。(全国平均と比較し、値が高いものを○、値が低いものを●とし、抜粋)

- 毎日朝食を食べていますか。(はい…88.9%)
- 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。(はい…88.9%)
- 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。(はい…51.9%)
- 健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。(はい…37.0%)
- 将来の夢や目標をもっていますか。(はい…66.7%)
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いませんか。(はい…31.5%)
- 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。(はい…33.3%)
- 学校に行くのは楽しいと思いませんか。(はい…33.3%)
- 人が困っているときは、進んで助けていますか。(はい…40.7%)
- 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。(はい…11.1%)
- 友達関係に満足していますか。(はい…46.3%)
- 国語の勉強は好きですか。(はい…7.4%)
- 算数の勉強は好きですか。(はい…27.8%)

3 結果の分析・活用

(1) 昨年度の取組

昨年度から、「聞くこと」に重点を置いて指導をしてきたことで、「聞くこと・話すこと」の数値が上昇したのではないかと考えられます。また、国語では、読み取ったことを文字数制限やキーワードを指定する等の条件を満たした文章を書くという経験を繰り返してきたことも、よい結果につながった要因として挙げられます。さらに、月例テストの実施や学習アプリ（ドリルパーク）の活用などにより、一人一人が自らの目標・課題に合わせて進んで学ぼうとする子どもの育成を図ってきました。それらの取組が、意識調査項目「学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」での問いに「はい」と答えた児童全国平均以上につながりました。



(2) 今後の取組

本年度は、「対話」に重点を置いて授業改善を進めています。今後も、国語以外の教科・領域でも、国語で培った「聞くこと・話すこと」の力を生かして、対話を通して学びの実感を得ることができるよう努めていきます。授業の終末の場面では、対話を通して深まった自分の考えを書く活動を設定することで、「学習内容が分かるようになった」「できなかったことができるようになった」「対話を通して学びが深まった」等の学びの自覚化を図っていきます。その結果として、「国語や算数などの授業が楽しい」と思える子どもを一人でも多くすることで、「学校が楽しい」と思える子どもがいっぱいの浅羽東小をつくっていきます。

意識調査からは、学校生活や他者とのかわりに不安を抱えている子どももいることが分かりました。授業で大切にしている「対話」は、人間関係をよりよくすることにもつながります。「対話」を通して、「自分の考えが伝わった」「友達と課題を追究してよりよい考えを生み出すことができた」という経験を通して、互いの絆を深める機会をつくっていきます。



(3) 家庭での取組

家庭での生活リズムやメディア利用の項目でよい結果が見られましたが、差があることも感じています。生活リズムが整っている子は、朝も元気にあいさつをして、授業でも生き生きと学んでいます。生涯にわたって健康な生活を維持するためには、小学校段階でよい生活習慣を身に付けておく必要があります。今後も、メディア・コントロールの取組みを継続しますので、お子さんの生活を振り返り、家庭での過ごし方を考えるきっかけとしてください。

また、「将来の夢や目標をもっていますか」の項目でよい結果が見られたのも、御家庭で将来について話し合ったり、夢や目標に向けて励ましたりして下さっていることの表れだと考えています。今後も、引き続き、家庭学習や生活の中で、お子さんの頑張りや成長を認める声掛けをお願いします。それらの声掛けが、お子さんの将来に向けての「芽」を育てる一歩となります。学校でも、一人一人の個性や可能性を伸ばすことができるよう、授業だけでなく様々な活動において、目標設定や振り返りの機会をつくり、認めたり励ましたりすることを大切にしています。



保護者の皆様へ

令和6年度 全国学力・学習状況調査の市全体の結果について

袋井市では、幼小中一貫教育の仕組みを生かし、子どもたちの「考える力」を育むための授業づくりを進めています。子どもたちは学習課題と向き合い、問いに対する様々な考えを「関係付け」ながら自分自身の納得のいく考えを見出していきます。

この調査では、子どもたちの学力だけでなく、日々の生活や学習の状況調査も行っています。それにより、規則正しい生活習慣や学習習慣と、子どもたちの学力との関係性が明らかになりました。学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを支援していくことが、子どもたちの成長には欠かせません。保護者の皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

本年度の調査結果と分析
について説明します。



I 調査の概要

- (1) 実施日 令和6年4月18日(木)
- (2) 対象 小学校6年生(820名)、中学校3年生(819名)
- (3) 実施内容 国語・算数(数学)・学習状況調査
- (4) 調査問題 国立教育政策研究所HPで公開

<https://www.nier.go.jp/24chousa/24chousa.htm>



学力調査は、子どもたちが身に付けるべき学力の一部を測定したものです。すべての学力を表したものではありません。

学習状況調査とは、子どもたち自身の学習に対する意識や、日常生活習慣等の実態について調査したものです。

2 学力調査と学習状況調査の結果

(1) 学力調査

教科	小学校		中学校	
	国語 (14問)	算数 (16問)	国語 (15問)	数学 (16問)
袋井市	64	58	57	52
全国	67.7	63.4	58.1	52.5

※ 袋井市の結果については、整数での集計となっています。上の結果は、問題の軽重に関係なく、全問題のうちの正答した割合(平均正答率)を示したものです。

(2) 記述式問題の無解答率

ア 国語

設問	小学校		中学校		
	2二	3三	1四	2四	3四
袋井市	6.1	17.8	9.8	8.4	14.7
全国	4.9	12.6	9.9	8.4	15.0

※ 解答用紙に何も書けていない児童生徒の割合が高いと無解答率が高くなります。

イ 算数・数学

設問	小学校				中学校				
	2(1)	3(4)	4(3)	5(3)	6(2)	6(3)	7(2)	8(2)	9(1)
袋井市	3.8	3.4	5.0	16.6	24.2	33.0	29.1	21.4	34.7
全国	3.4	1.8	2.4	12.6	23.5	29.6	29.4	16.4	33.6

※ 解答用紙に何も書けていない児童生徒の割合が高いと無解答率が高くなります。

(3) 学習状況調査

ア 肯定的な回答の割合が(全国と比べて)高かった主な項目

設問	小学校		中学校	
	袋井市	全国比	袋井市	全国比
自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	78.0	+2.2	81.6	+5.4
自分にはよいところがあると思いますか	85.5	+1.4	85.5	+2.2
人が困っているときは、進んで助けていますか	93.9	+1.2	91.6	+1.5
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	83.9	+0.4	79.3	+3.2
前年度までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか(ほぼ毎日・週3回以上)	76.9	+17.4	87.4	+23.0

※ 上記の結果は、肯定的な回答をした児童生徒の割合を示したものです。

イ 肯定的な回答の割合が（全国と比べて）低かった主な項目

設問	小学校		中学校	
	袋井市	全国比	袋井市	全国比
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか（2時間以上）	18.1	-5.4	28.4	-3.3
解答時間は十分ではなかった（国語）	37.7	-10.0	33.9	-11.4
解答時間は十分ではなかった（算数・数学）	19.2	-6.2	33.2	-8.8

※ 上記の結果は、肯定的な回答をした児童生徒の割合を示したものです。

3 分析

（1）学力調査の結果から

小学校	国語	○文章の内容を正しく説明したり、適切に理由や原因を述べたりしている選択肢を選ぶ問題は、他の問題と比べて正答率が高い。 ●複数の情報を関連付けて 決められた条件を満たしながら自分の考えを書く 問題は、他の問題と比べて正答率が低く、無解答率が高い。
	算数	○問題場面を式で表して計算したり、グラフから情報を読み取って処理したりする問題は、他の問題と比べ正答率が高い。 ● 図形を処理したり、根拠を示し、決められた条件を満たしながら自分の言葉で説明したりする 問題は、他の問題と比べ正答率が低く、無解答率が高い。

中学校	国語	○平仮名を漢字に直したり、文章の内容を適切に説明や要約している選択肢を選んだりする問題は、他の問題と比べて正答率が高い。 ●文章の内容を読み取ったり解釈したりして、 示された条件を満たしながら自分で書く 問題は、他の問題と比べて正答率が低い。
	数学	○座標の値や確率、最頻値等を求める短答式の問題は、他の問題と比べ正答率が高い。 ● 記述された内容を解釈し、数式やグラフ等を用いて説明する 問題は、他の問題と比べ正答率が低い。

（2）正答率が高い児童生徒に見られる学習状況の傾向 （学力調査と学習状況調査の結果より）

ア 家庭生活や児童生徒に関すること

- ・朝食を毎朝食べている
- ・普段（月曜日から金曜日）、携帯電話やスマートフォン SNS や動画を視聴する時間が少ない
- ・家にたくさんの本がある
- ・人の役に立つ人間になりたい
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しい

⇒情報機器の自己管理と規則正しい生活が学力の基礎になると考えられます。

⇒読書の機会を増やし、新しい情報を得たり語彙を増やしたりすることは、読解力と「考える力」を身に付けていくための基礎になると考えられます。

⇒人の役に立ちたいという思いは、良い人間関係を築くことに役立ちます。人との関係が良好であれば、対話や議論を楽しむことができ、自分の考えを広げたり深めたりすることができます。

イ 主に学び方に関すること

- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫している
- ・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる

⇒自分で学びを考えて工夫することで、個の学びが充実します。お互いに協力しながら課題の解決に取り組むことで、協働的な学びが実現します。これにより、確かな学力が育まれると考えられます。

ウ 主に授業に関すること

- ・国語・算数（数学）の勉強は好き
- ・数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えている
- ・授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた
- ・授業では、各教科等で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた

⇒分からなくてもあきらめずに試行錯誤することや、課題の解決に向けて自分から取り組み、学んだことを生かしながら自分なりにまとめる経験により、知識・技能の定着に加えて、「考える力」が育まれていきます。また、課題を追究しようとする主体性も培われます。

4 今後の取組

子どもたちの思考の深まり広がり・思考スキル・追究する姿勢といった「考える力」を育てていくために、袋井市では「『袋井型』授業づくり」に取り組んでいます。これは以下の3つの要素を大切にして授業計画を立て、実践することです。

- ・子どもが考えたくなるような、「？型の学習課題」を設定する
- ・自分自身の考えを深めるために、「対話や議論」の場を設定する
- ・学習課題に対し、自分自身の納得のいく考え（納得解）を書く「個のまとめ」の時間を設定する

学力・学習状況調査の結果から、袋井市の子どもたちは、他者のことにも目を向け行動しようとする姿勢が育っていることが分かりました。日々の授業において、他者との関わりを大切にした対話や議論の場をさらに充実したものとするとともに、自分自身の納得のいく考え（納得解）を表出する「個のまとめ」の徹底を図ることで、子どもたち一人ひとりが自分の思いや考えをアウトプットすることに重点を置いた授業改善をさらに進めていきます。

家庭での過ごし方についても、ぜひお子さんと話し合ってみてください。

